

協働的な学びで目指す生徒の姿

育成する資質・能力		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
協働する力	①自分を律すること (授業規律)	ルールを守る。 ・活動に必要な物だけを机の上に置いている。 ・机をきちんとつけ、頭を寄せ合っている。	自分で判断し、進んで行動する。 ・一緒に活動しようとしている。 ・相手を見て話している。 ・相手に伝わる声で話している。 ・人任せにせず意見を言っている。	活動をどう進めるか考え、自分をコントロールする。 ・指示を待たなくても考えて活動を進めている。	その場の状況に合わせて、自分の気持ちや行動をうまくコントロールする。 ・自分の意見に固執せず、相手の考えを受け入れようとしている。
	②自分の考えを大切にすること (話し方・伝え方)	自分の考えをもった時は必ず言う。	自分の考えを進んで言う。 ・はっきり言いきっている。 「私は～と思います。」 ・相手の意見を尊重しながら言う。 「〇さんと同じように／〇さんとは違って…」	自分の考えを、相手に理解してもらえるまで伝える。 ・根拠を明確に示す。 「理由は～です」 ・ナンバリング、接続詞等を使って具体的に伝える。 「私の考えは2つあります…」 「だから」「つまり」「例えば」	自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしながら、よりよい意見・新しい考えを作り出すような話し合いをする。 「じゃあ〇さんのこの意見と私のこの意見を組み合わせてこうするのはどう？」
	③相手を大切にすること (聞き方)	相手の話に反応しながら聞く。 「うん、うん」 「へえ～」 「なるほど」 相手を見ながらうなずく。	相手の考えを尋ねる。話し合いに誘う。 「なぜ〇なの？」 「〇さんはどう？」 「全員意見言った？」 「自分／〇さんの意見についてどう思う？」	他者の意見を認め、文章や考えに助言する。 「この言い方／意見いいね」 「ここはこうしたらどう？」 「ここはどういうこと？」 自分の考えと比べる。 疑問点を探す。	「もし〇になったらどうする？」 「じゃあその時のことも考えておこう」

- ・上の表を教師と生徒が持ち、協働的な学びでの話し合いの共通認識をもっておく。
- ・このシートをもとに協働的な学びを見取っていく。